

平成29年度決算審査における事務事業評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施策名
	生涯学習の充実

事業名 図書館利用促進事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント	
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	1	○	15	利用人数は少ないが貸し出し冊数は近隣市町より多いので潜在的に必要としている人が多い可能性が高い。
	②ニーズが高い(20点)	2			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	3			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	1			
	⑤ニーズが低い(5点)				
	⑥ニーズがない(0点)				
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	3	○	25	市民の教育、教養のコミュニティの観点から必要。
	②必要性が高い(20点)	4			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)				
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)				
	⑤必要性が低い(5点)				
	⑥必要性がない(0点)				
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)		○	20	費用に見合った市民満足度は得ていると考える。
	②効果がある(20点)	2			
	③どちらかといえば効果がある(15点)	5			
	④どちらかといえば効果がない(10点)				
	⑤効果が少ない(5点)				
	⑥効果がない(0点)				
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	1	○	15	図書館間の図書の取り寄せが行われており、利用促進に努めている。
	②成果がある(20点)	1			
	③どちらかといえば成果がある(15点)	4			
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1			
	⑤成果が少ない(5点)				
	⑥成果がない(0点)				

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6 きわめて良好である	利用人数は少ないが貸し出し冊数は近隣市町より多いので潜在的に必要としている人が多い可能性が高い。この事業は市民の教育、教養のコミュニティの観点から必要。費用に見合った市民満足度は得ていると考える。図書館間の図書の取り寄せが行われており、利用促進に努めている。
5 良好である	
④ おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
5 拡充する	更なる図書館の利用を促進するために、現在のサービスを継続し、未利用者へのアプローチをするとともに魅力ある図書館づくりに努めてもらいたい。
④ 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成29年度決算審査における事務事業評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
	生涯学習の充実

事業名 生涯学習活動推進事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	① きわめてニーズが高い(25点)			講座など必要と考える人にはニーズが高い
	② ニーズが高い(20点)	3		
	③ どちらかといえばニーズが高い(15点)	3	○	
	④ どちらかといえばニーズが低い(10点)	1		
	⑤ ニーズが低い(5点)			
	⑥ ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	① きわめて必要性が高い(25点)	2		文化講座などは民間でもかなり行われているが、主に都市部での開催なので、本市のような農村と市の場合、市が行う必要性はあると考える。
	② 必要性が高い(20点)	3	○	
	③ どちらかといえば必要性が高い(15点)	2		
	④ どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤ 必要性が低い(5点)			
	⑥ 必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	① きわめて効果がある(25点)			専門知識が学べる。参加している人の満足度が高い。
	② 効果がある(20点)	2		
	③ どちらかといえば効果がある(15点)	5	○	
	④ どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤ 効果が少ない(5点)			
	⑥ 効果がない(0点)			
目標の達成状況	① きわめて成果がある(25点)			回を追うごとにリピーターが増えていることを考えると、生涯学習活動のきっかけづくりになっている
	② 成果がある(20点)	3		
	③ どちらかといえば成果がある(15点)	3	○	
	④ どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	⑤ 成果が少ない(5点)			
	⑥ 成果がない(0点)			

2. 分科会評価

	評価	分科会の評価理由
4	6 きわめて良好である	講座など必要と考える人にはニーズが高い。文化講座などは民間でもかなり行われているが、主に都市部での開催が多く、市内での開催が少ない。よって、市が行う必要性はあると考える。講座では専門知識が学べ、参加している人の満足度が高い。回を追うごとにリピーターが増えていることを考えると、生涯学習活動のきっかけづくりになっている。
	5 良好である	
	④ おおむね適正である	
	3 問題がある	
	2 かなり問題がある	
	1 不適正である	

3. この事業に対する提案

	提案	提案、提言内容
4	5 拡充する	講座内容、場所、時間など受講者を広げるための工夫を求める。
	④ 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	

平成29年度決算審査における事務事業評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施策名
	生涯学習の充実

事業名 国際交流活動支援事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	1	15	外国人登録者数の増加など国際化が進展している。
	②ニーズが高い(20点)			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	5		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	1		
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	2	20	市として、市内の外国人との交流事業は、大事なことである。
	②必要性が高い(20点)	2		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	3		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)		15	少ない費用で効果をあげている。
	②効果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	5		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)		15	各種事業を通じて、異なる文化や習慣を持つ外国人とお互いを理解し合える環境づくりに努めた。
	②成果がある(20点)	1		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	5		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)	1		
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6 きわめて良好である 5 良好である ④ おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適正である	外国人登録者数の増加など国際化が進展している中、市として市内の外国人との交流事業を行うことは大事なことである。各種事業を通じて、異なる文化や習慣を持つ外国人とお互いを理解し合える環境づくりに努め、少ない費用で多くの事業を行っている。

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
5 拡充する ④ 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 縮小する 1 廃止・休止する	市は共生社会を構築する必要性を認識し、国際交流に関する方向性を出すべき。また、市がやるべきことと民間がやるべきことの事業精査をすべき。